

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立杜の里小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 920 - 1165
金沢市 若松町3丁目282番地

E-mail : morinosato-e@kanazawa-city.ed.jp
 Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/morinosato-e/

児童生徒数：男子 262 名 女子 237 名
 合計 499 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

金沢市立杜の里小学校

[はじめに]

本校は、金沢市の南部に位置し、平成19年4月に開校した。全校児童は500名、教職員は35名である。

学校の北側には卯辰山、西側には浅野川が流れ、四季を通じて子ども達が自然に親しめる環境にある。また、金沢大学が近くにあり、文教地区としても栄えてきた。さらに、山側環状道路の整備に伴い、多くの商業施設が存在する。

昨年度、ユネスコスクールの認定を受け、身近な自然、里山、金沢を舞台として持



自ら 関わり つながる 杜の里
～感じて、考えて、伝え合おう～

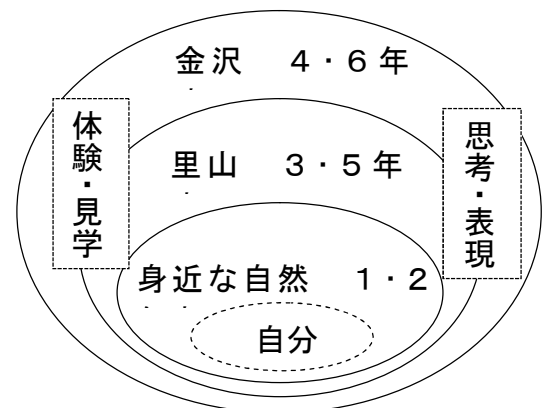


1 ユネスコスクールとしての取組

本校では、「関わり」「つながり」を大切にできる子どもを育てるという基本的な考え方(杜の里ESD)のもと、身近な自然、里山、金沢・・・と関わる中で、自分を含む、さまざまなものとのつながりを感じて、考えて、伝えていく実践に取り組んでいる。

生活科や総合的な学習の時間を中心に、1・2年生は身近な自然、3・5年生は里山、4・6年生は金沢を舞台に体験や見学、発表会を行っている。

今年度は、「杜の里ESD」を意識した実践及び「杜の里ESDカレンダー」の作成、地域や他校とのネットワーク作りを重点目標として取り組んできた。



身近な自然

種から育てた朝顔の花を使って、夏には色水遊びをしたり、秋には、蔓のリース作り、種のバッチ、またどんぐりや松ぼっくりでおもちゃを作って、季節と関わりの深い遊びを楽しむことができたよ。



運動場横の畑やプランターで、たくさんの野菜を育てて収穫できたよ。

自分たちで育てた野菜はとってもおいしかったね。成長の様子を毎日見に行き、水や肥料をあげたり、支柱で支えをしたりしたよ。

よく実るようにわき芽を取ったよ。



もりもり学習発表会では、どんぐりやまつぼっくりで作ったおもちゃのお店を開いたよ。全校のみんなが1年生の工夫したおもちゃを楽しんでくれたよ。

里山

「NPO 金沢杜の里」の方と一緒に、6年前からホタルの飼育・放流をしているよ。ホタルは環境の変化に弱いから、自分たちで幼虫が大きくなるまで育ててから、学校近くのせせらぎ通りの小川に放しているんだよ。



「成虫になるまで元気で育ってね。」と声をかけて放流しました。

「奥卯辰山健民公園管理事務所」の方と一緒に、米作りをしているよ。田植えや稲刈りを体験して、たくさんのお米を収穫できたよ。親子活動では、ケーキ寿司も作ったね。



里山保全から食糧問題や環境問題を考えて、もりもり発表会で自分たちの考えを伝えたよ。「田植えの時は土がどろどろしていて気持ち悪かったけれど、自分で収穫したお米の味は最高だったね。」

金 沢

金箔貼りや水引体験をしたよ。金沢には、昔から伝わるすてきなものがたくさんあるんだね。



職人さんの技にびっくりしたよ。かっこよかったなあ～。もりもり発表会では、金沢の伝統工芸や偉人について発表したよ。

もりもり発表会では、「ミニまいどさん」や「職人さん」になって、金沢の魅力や伝統文化を工夫して伝えました。



金沢には、魅力がいっぱい！こんなステキな金沢に生まれ育ったことをとても誇りに思うよ。

2 成果と課題

今年度も、「人と人とのつながりから、社会・自然・世界とのかかわりを深めよう」という金沢ユネスコスクールのテーマのもと、身近な自然・里山・金沢を舞台に、自ら関わり、つながることを本校の基本的な考え方として取り組んできた。その結果、子ども達の中にも、「私たちは、自然の恵みを受け取って生きているんだね。」「自然を守っていきたい。」「昔の人から受け継いだ技はすばらしいな。」「金沢の伝統を未来にも残していきたいな。」といった発言や記述が多数あり、それぞれにつながりを意識できたと考える。そして、全校一斉に「もりもり発表会」を開催して、子ども達から保護者や地域の人に発信することができた。また、研修会を開き、「杜の里ESDカレンダー」を元にした各学年の取り組みを報告し合い、学年間の縦のつながりを見通すとともに子どもたちの成長を感じることができた。さらに、小中一貫校との新たなネットワーク作りに取り組み、掲示物を交換して展示し合った。兼六中1年が金沢をテーマにして書いた新聞を本校で掲示し、本校6年生が同じく金沢をテーマに書いたパンフレットを兼六中に展示してもらった。掲示した新聞を見た6年生は「さすが詳しいな。」「初めて知ったことが書いてあるな。」という声が上がっていた。

来年度は、「杜の里ESDカレンダー」を更によりよいものに更新するとともに、小中一貫校との掲示物を中心とした交流を進めていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）